

■ 武内範男 略歴

昭和 22 年 高知県香美市に生まれる。大谷大学大学院仏教文化専攻、修士課程終了。

(1947)

昭和 59 年 思文閣出版、思文閣美術館勤務ののち、財団法人畠山記念館に学芸員として奉職。

(1984)

平成 19 年 退職後、茶道愛好者を対象に茶花教室を開講し、その普及に努める。

(2007)

著書 『やさしい茶花の入れ方風炉・炉編』（世界文化社）、『女流茶人 堀越宗円』、分担執筆に『西川一草亭-風流一生涯-』、『茶道具の世界 掛物絵』ほか、茶道・花道史を中心に日本文化に関する論文を執筆する。

『茶趣の花ごよみ』2010年(平成22年)里文出版から出版